

車載機器のEMCと 試験規格の最新動向

EMC SYMPOSIUM IIDA 2022 S-BIRD & ON-LINE

2023年2月24日(金) 時間13:00~17:20

■会場 エス・バード ホール(長野県飯田市座光寺3349-1)

■参加費 お一人様 3,000円 当日会場での支払いまたは指定口座への振り込みをお願いします。

振込先: 飯田信用金庫城東支店 普通 3721722 口座名義: EMCイイダ(振込手数料はご負担ください。)

EMCシンポジウム IIDA2022

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大によりオンラインのみの開催とさせて頂きましたが、今回は、エス・バードとオンラインのハイブリッドで開催することと致しました。EMCシンポジウムIIDA2022では、車載機器のEMCと試験規格の最新動向について業界等で活躍されている方々に講演して頂きます。

講演スケジュール

- 13:00~13:05 **開会式**
- 13:05~13:55 **講演①** 「自動車EMCの動向とリバブレーションチャンバ法」
(一財) 日本品質保証機構 塚原 仁氏
- 14:00~14:50 **講演②** 「マルチメディア機器のエミッション規格
CISPR32の最新メンテナンス内容について」
(一社) 電子情報技術産業協会 千代島 敏夫氏
- 15:00~15:50 **講演③** 「連続波現象に対する
イミュニティ試験規格の概要と最新動向」
東陽テクニカ株式会社 中村 哲也氏
- 15:55~16:45 **講演④** 「ハードウェアサプライチェーンにおける
セキュリティ脅威と対策」
奈良先端科学技術大学院大学 林 優一氏
- 16:45~17:15 **施設紹介** 「高速信号伝送評価センターのご紹介」
長野工業高等専門学校 春日 貴志氏
「次世代高速通信モジュール評価試験拠点のご紹介」
長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門
篠原 秀樹氏
- 17:15~17:20 **閉会式**

■主催

公益財団法人 南信州・飯田産業センター

■後援(予定)

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター
一般財団法人VCCI協会
中部エレクトロニクス振興会
長野県
公益財団法人長野県産業振興機構
長野県工業技術総合センター
飯田市
下伊那郡町村会
飯田商工会議所
長野県商工会連合会南信州支部
南信州広域連合
南信州工業会
飯田電子工業会

■事務局

公益財団法人 南信州・飯田産業センター
担当: 木下
〒395-0001
長野県飯田市座光寺3349-1
TEL: (0265) 52-1630
FAX: (0265) 21-3134
E-mail: iidaemc@isilip.com

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、講演はエス・バードから、またはオンラインとなります。

※会場への直接参加は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、50名までとさせて頂きます。なお、今後のコロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインのみの開催とさせて頂く場合がございます。

13:05~13:55

講演
①

自動車EMCの動向とリバレーションチャンバ法

一般財団法人
日本品質保証機構

塚原 仁

自動運転に代表されるように最近の自動車は高度に電子化され複雑さを増している。自動車のEMC試験はこれに対応すべく活発な議論が行われている。ISOやCISPRなどの国際会議、それに関連する国内会議において、現在どのようなことが議論されているかを紹介する。リバレーションチャンバ法がなぜ注目されているかについても紹介する。

14:00~14:50

講演
②

マルチメディア機器のエミッション規格CISPR32の最新メンテナンス内容について

一般社団法人
電子情報技術産業協会

千代島 敏夫

マルチメディア機器のエミッション規格CISPR32は、2019年に2.1版が発行され、現在3.0版に向けたメンテナンス作業が続けられている。本講演では、現時点で適用されているCISPR 32規格2.0版と2.1版の比較および、最新のメンテナンス活動から、ワイヤレス電力伝送(WPT)、振幅確率分布(APD)、無線通信機能の試験ガイド他について解説する。

15:00~15:50

講演
③

連続波現象に対するイミュニティ試験規格の概要と最新動向

株式会社 東陽テクニカ
ワンテクノロジーカンパニー

中村 哲也

近年無線通信システムは大きな進歩を遂げ、広帯域化、高周波化も著しく、電子機器はあらゆる場所での通信信号にさらされている状況にあり、電子機器の通信信号などの連続波に対するイミュニティ能力は重要さを増している。本講演ではIEC61000-4シリーズの内、連続波現象に対するイミュニティ試験規格の概要と最新動向を解説する。

15:55~16:45

講演
④

ハードウェアサプライチェーンにおけるセキュリティ脅威と対策

奈良先端科学技術大学院大学

林 優一

電子機器メーカーはコスト削減などの理由により、自社で設計したICチップを安価に製造できるサードパーティーのファウンドリを利用するケースがある。こうした状況下では、IC製造のサプライチェーンにおいて、チップ設計者が意図しない機能が付加され、特定の状況下ではICの破壊やセキュリティの低下を引き起こす可能性がある。このような設計者の意図に反して付加される回路はハードウェアトロージャン(HT:Hardware Trojan)と呼ばれ、新たなセキュリティの脅威と見みなされており、対処の必要なセキュリティ課題の1つとなっている。本講演ではハードウェアサプライチェーンにおいてHTが引き起こす脅威を俯瞰すると共に、その検出・対策についても概説する。

ご参加方法は2通り (Web参加 あるいは 直接参加)

直接参加(定員 50名)
エス・バード 大ホール

申込方法

参加専用申込みフォームはこちら▶

<https://kokc.jp/e/8b5e31c1f9ca8336701c595f89f2a8bb/>



お申込みから
当日までの流れ



申込み・受付

専用フォームよりお申込みください。
自動返信メールが送信されます。



事前確認

※前日までに
講演資料の
ダウンロードを
お願い致します。

申込締切後にZOOMのURLをお知らせします。



シンポジウム当日

当日お時間になりましたらURLへアクセス。ZOOMでご視聴ください。

□申込締切日 2月20日(月) ※直接参加は定員(50名)になり次第締め切りとさせていただきます。

※直接参加の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX0265-21-3134 または E-Mail:iidaemc@isilip.comまでお送り下さい。請求書が必要な場合は、請求書欄にチェックをお願い致します。

参加申込書

EMCシンポジウムIIDA 2022

会社名			
所在地 〒			
氏名	所属部課	TEL	請求書
□直接参加 □Web参加		FAX	□必要
		E-mail	□不用
氏名	所属部課	TEL	請求書
□直接参加 □Web参加		FAX	□必要
		E-mail	□不用

※メールアドレスの記入をお願い致します。